

よねさとづくり通信 No.187

よねさとづくり協議会
令和7年9月1日発行

9月1日は防災の日、9月は台風シーズンにもなります。皆さん、日頃の備えは大丈夫ですか？

暦の上では既に秋なのですがまだまだ暑い日は続きます。稲刈りも例年より早まっているようです。いろいろなことが、これまでどおりでは済まなくなっている昨今、さまざまな見直しを迫られています。

今秋の地区行事について

8月10日（日）に第5回区長部会があり、今秋の地区行事についても協議されましたので、その内容を紹介します。

●敬老会に関する動き

例年9月の「敬老の日」に開催されてきた米里地区全体の敬老会は今年はいわず、各町内会を中心に敬老会を含む敬老事業を行うこととなりました。その後各町内会で協議され、旧米里地区と雲山中央は敬老会を開催し（旧米里は11月、雲山中央は10月）、雲山南と東雲山は75歳以上の方々に記念品を贈るよう、地区社協と相談してそれぞれ準備を進めていることが報告されました。

●地区運動会に関する動き

これまで5月の小学校運動会と合同で開催していた地区運動会を、今年度は米里まつりの2日目の10月19日（日）に開催することとなりましたが、その内容について体育会で検討された内容をもとに、大枠が合意されました。

- ・午前中の開催とする
- ・実施種目は、地区対抗種目（綱引き、むかで競争、米里グランプリ）と、幅広い世代向けの個人種目（旗とり、かけっこ、鯛釣り競争、借り物競争など）
- ・体育会を中心に地区内各団体からの実行委員が協力して運営する

戦後80年の慰霊祭を終えて

戦後80年となる令和7年の8月15日に、地区社協と地区遺族会の主催による米里地区戦没者慰霊祭が公民館大広間で執り行われました。遺族16名、区長・町内会長ほかが参列し、全員による黙祷の後、遺族会代表による慰霊のことば、参列者代表による玉串奉奠がなされ、日清戦争以降の英霊124柱を追悼するとともに、平和を祈念しました。

遺族が高齢化し、実際に戦争を知らない世代が大半を占める中、戦争の記憶が風化していくことが懸念されています。今までの80年間は戦争状態にないわが国ですが、歴史を学び、過ちを二度と繰り返さないよう努めなければなりません。

国家同士の戦争を避けるため、一人一人にできることは何かを考え行動する必要があります。様々な分断やいさかいが生じている今、国籍や人種、年齢、性別を超えて人間同士のつながりを築き、それを世界に、次の世代につなげていきたいものです。



式典後、慰霊塔を参拝

「こどもかけこみ110番の家」 をご存じですか？

（敬称略）

地区名	協力先	地区名	協力先
越路	(有)徳吉建設	中大路	よねさと保育園
	山下 道夫		徳長 信幸
久末	川上 幸治	西大路	下田 龍太郎
	川上 和身		下田 秀一
古郡家	山下建築（株）	東雲山	すみれ美容室
	本田 昌宏		サラダ館
	(財)日本きのこセンター		(株)日本交通
美和	山田 薫實	雲山南	福島石油（雲山ハートランド）
長砂	神戸 一郎		東部石油販売（株）雲山南
東大路	山本 正博	雲山中央	スノーラスカル
	秋本 孝明		御飯人



誘拐や声掛け事案などの犯罪から地域の子もたちを守るため、子どもたちがそうした事案等に遭遇した際に、保護を求めたり、警察等への早期通報をお願いすることへのご理解・ご協力を得て、一般家庭や商店・事業所に登録していただき、表示パネルを掲げていただいているものです。

なお、2年ごとに登録更新することとしています。（8月現在の協力（予定）先は、22か所）

幸い、これまで大きな事案は発生していませんが、日頃から米里のこどもたちを温かく見守っていただいています。

ありがとうございます

町内会だより ～東大路～

東大路部落44世帯の近況として、7月26日に東大路納涼祭を開催しました。100名以上の人に来ていただき盛況でした。祭り運営の中で生まれた、様々な反省・改善点を次回の納涼祭に生かしながら、役員共々努めていく所存です。

話は変わり、大路の稲作栽培の水状況は、日照り続きで水がなく、川からポンプで田に水入れをしているとのこと。米は日本人にとって特別な存在。いつの時代も主食米が日本人の社会制度、子孫の継承を根底から支えてきました。生産量を増やして余剰分を日本のコメの輸出、販路拡大していくことを、国、企業共に真剣に考えていくべきだと思います。

（東大路区長 松本耕季）

*次回の「米里マルシェ」は9月14日（日）の予定です。

これまでの「よねさとづくり通信」



YouTube「米里チャンネル」



Instagram 「よねさとづくり協議会」

